

社会・環境部会 2021年度第4回運営小委員会議事メモ(案)

2022年2月24日

社会・環境部会 事務局長

山本 隆一

1. 日 時：2月16日（水）10時00分～12時15分
2. 場 所：Zoom ミーティングルーム(ホスト；山本)
3. 出席者；土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、伊藤委員、寿楽委員、高木委員、稲村委員、小林委員、布目委員、木藤委員、竹田委員、桑垣委員、北田委員、山本事務局長
4. 議事；括弧内は担当
  - (1) 部会長挨拶
  - (2) 前回議事メモ確認

山本より資料 21-4-1 に沿って前回議事録案を紹介した。既に供覧済みでもあり、特にコメントもなかったが、誤記等散見されたので、修正、再確認に手続きを踏んだ上で了承することとした。
  - (3) 部会表彰について
    - ① 2021年度に表彰候補について

佐田表彰小委員長より資料に沿って紹介があり、表彰小委員会にて選定した2件（優秀発表賞1件、優秀活動賞1件）について部会表彰することが了承された。今回はいずれも団体表彰となった。
    - ② 表彰状作成について

山本より例年通り外注にて表彰状を作成することが提案され、予算に計上済みの外注費（1万円）の支出を含め、提案通り了承された。
  - (4) 2020年春の年会への準備について
    - ① 全体会議の流れについて

山本より例年通りの議事次第で開催することが提案されたが、データベース管理WGについては、実態として活動が無いことから議題からは削除することとなった。また来年度新設される研究専門委員会については設置目的など簡単に紹介することとなった。
    - ② 部会企画セッションについて

佐田副部会長より企画セッションについて簡単な紹介があり、了承された。
  - (5) 定例報告等

① 部会等運営委員会の状況について

稲村委員より資料に沿って紹介があった。特記事項として、今後の年会大会の開催方法として、春はオンライン、秋は現地開催の方向で、参加料は差を付けない方向とのこと。また、オンラインの場合、春の年会以降はプライベートチャットを使えるようにするとのこと。

学生連絡会が開催するポスターセッションの選考委員については、春の年会では高木委員を推薦することとなった。

また、部会から選出しているプログラム編成委員等が固定化している現状を改善する必要があるとの指摘が再度あり、継続して検討して行くこととなった。

この他、山口会長が推進しているウィークリーウェビナーについては当部会としては他部会員が興味を示すと予想されるリスコミをテーマとする4回シリーズ程度の講座を持つ方向となった。

② 2021年度予算執行状況等について

高木委員より資料に沿って紹介があった。特記事項としてはリモートでの活動が継続していることから旅費交通費が0になったことがあげられた。一方、3月に予定されているマスメディア交流会では当初見積もりに比べて会場費が増えたことが紹介されたが、予算的には問題ないとのこと。次年度予算においてはコロナ禍の終息を期待して旅費を中心に平常時の予算を見積もったことが紹介され、以上纏めて了承された。

③ マスメディアとの関係構築

伊藤委員より資料に沿って紹介があった。今年度の交流会は3月24日の午後開催とし、対面とZoomを活用したリモートを組み合わせたハイブリッド形式をとることとしたとのこと。テーマは「革新的技術の原子力イノベーションに向けた研究開発について」とし、東京都市大学の高木教授に講師をお願いしたとのこと。

④ データ管理ワーキンググループについて

土田部会長より、管理しているデータベース自体が古くなってきたことから、全体会議においても議題から外したいとのことで、了承された。

⑤ ポジション・ステートメントWGに関わるトピックス

山本より、山口学会長の指示によりPSが理事会主導に変更されることになり、その改革案の提案をPSWGに求められたことから、来週のPSWGで議論すべく準備している旨報告した。広報情報委員会の下部組織に理事会から直接指示(依頼?)が来ること自体、形式的におかしなところはあるが、停滞しているPSに関わる諸作業を進めていく上では必要と考え取り組んでいると説明。これを受け、現在当部会が主査と幹事を引き

受けている現状も変わっていくことが期待できるとの意見があった。

⑥ 部会 HP の管理状況について

木藤委員より資料に沿って部会 HP の管理状況について報告があり、継続的に更新が実施されていることが確認された。また、新たに設置される研究専門委員会のサイト(学会 HP 内のサイト)にリンクを張る予定であることが紹介された。関連して、表彰委員会議事メモの掲載については、誤解等を招かないよう記載内容の精査など検討することとなった。

(6) その他

① 運営小委員会の任期更新等について

山本より 3 月末で任期が来る 7 名の委員について、意向打診が行われた。その結果、欠席している 1 名を除いて任期延長の了解が得られた。また、このうち 1 名については本人宛の委嘱状を発行することとなった(先行実施分も含めて委嘱状発行は 2 名)。なお、意向確認ができなかった 1 名については部会長が別途確認をとることとなった。

② 研究専門委員会について

部会長及び寿楽委員より 4 月に設置される新しい研究専門委員会について改めて紹介があった。併せて直近の会長記者会見において本件が披露されることも紹介された。

以上